令和５年度研究プロジェクト研究概要報告

研究種別	■自主研究 17	公益目的事業　19
主査名	長田哲平　宇都宮大学准教授	
研究テーマ	地方都市の中心市街地における荷捌き駐車施設の配置に関する研究※※	

研究の目的：

本研究では、地方都市において過剰に供給されている路外駐車施設の集約や、荷捌き駐車場としての活用など、荷捌き活動に着目した駐車施設の地域ルールに検討できるように、地方都市の中心市街地の荷捌き駐車の実態と駐車施設の利用実態の関係を明らかにすることを目的とする。

研究の経過（4 月～3 月）：本研究では、以下の 2 点ついて議論を重ねた。

（1）地方都市の中心市街地ならびに荷捌き駐車場の実態、駐車場条例や地域ルールなどの実態整理

（2）地方都市である栃木県宇都宮市を対象に駐車施設の利用実態と荷捌き活動の実態の比較

第 1 回研究会では、地方都市として事例にあげる栃木県宇都宮市で進められている次世代型路面電車プロジェクトの紹介ならびに宇都宮市で取り入れられる付置義務駐車場の設置基準の緩和施策などを紹介した。現計画などには、物流の視点が抜けていることを確認した。

第 2 回研究会では、LRT が導入されている富山市と BRT が導入されている新潟市の各種計画や道路計画、交通規制状況などの比較を行った。各都市の交通政策において駐車政策が弱いことがわかった。

第 3 回研究会では、LRT 開業後の状況報告とともに、路面電車が整備されている 4 都市（松山市、長崎市、熊本市、鹿児島市）の交通実態を比較した。対象 4 都市では荷捌き貨物車対策についての検討はほぼなされてないことがわかった。

第 4 回目の研究会では、宇都宮市の中心市街地のまちづくりプランを確認し、今後検討が必要となり得うる点を議論した。加えて、中心市街地における路外駐車場の状況と周辺土地利用の定量的な分析結果についてディスカッションを行った。なお、プロジェクト会議は、合計 4 回（6/7、9/15、12/8、2/16）にハイブリッド開催し、現地見学会（3/28）を実施しディスカッションを重ねた。

研究の成果（自己評価含む）：

本研究では、地方都市においては駐車政策や荷捌き貨物車対策についての検討が弱いことを再認識した。また、宇都宮市の中心部に多くの路外駐車場が点在していることを定量的示すとともに、LRT が延伸されるにあたり中心市街地における荷捌き貨物車対策など改めて議論が必要であることなどの重要な知見を得ることができたと考える。

今後の課題：

宇都宮市では、LRT が導入された東側区間は、路外駐車場や荷捌き駐車など現状大きな問題となっていないが、今後延伸が検討さている西側区間（既存の中心市街地を有するエリア）では、路外駐車場、荷捌き貨物車対策などの議論が必要になると考える。そのためには中心市街地における物流実態などを分析する必要があると考える。